

第1WG 評価コメント

評価者のコメント(評価シートに記載されたコメント)

事業番号1-65 国土交通大学校

統合の検討を行う(他省庁も含めて)。

本校と柏研修センター統合の可能性だけでなく、他省庁の施設の共有等、あらゆる可能性を探るべき。

国土技術政策総合研究所研修センターを含めて、段階的に統合を進めるべきである。また、職員数を削減すべきである。総務管理職員の削減が必要。

統合も含め、一層の合理化、コストカットに努力すべき。

実践的、専門的なカリキュラムに絞り込むべき。

政府全体の研修施設の統合等の見直しを行い、民間施設の利用を検討すべき。

国全体の研修体制全体の見直しを行うことが必要だと考える。

全省庁全体で考えて然るべき。横串で全部(本当は司法研修所)。研修は「決め」でレベル設定できる。

全ての研修に共通して言えることであるが、研修の便益のかなりの部分は、研修を受けた個人に帰属するのであるから、個人負担を増やすのが当然である。

民間人は、労働者として、スキルアップを、アフター5や休日に自己負担で行っている。高い公務員意識を育てるためにも、新人研修以外は自己負担を導入すべきではないか。給料をもらいながら業務命令で費用負担を公費で行うスタイルは、学ぶ深度にもエリート意識にも変化が出るのではないか。

WGの評価結果

見直しを行う

(研修・施設の在り方等について政府全体で見直す)

(廃止 0名 自治体/民間 0名 見直しを行わない 0名

見直しを行う 12名(：ア施設の統合 8名

イ研修カリキュラムの縮減 5名 ウその他 6名))

注)複数回答あり

とりまとめコメント

結論は見直しを行うということだが、本日の国土交通大学校はサンプルとして取り上げたものであり、省庁で行う研修の在り方、そしてそれに対応する施設、現有のものを含め施設の在り方は、政府全体で考え直すべき。

公務員がどのような研修を受けるのか、どのような場で研修を受けるのか、負担の在り方はどうか、については、行政刷新会議で十分議論してもらえよう、ワーキンググループとして提案したい。